

革新的カーボンネガティブコンクリートの 材料・施工技術及び品質評価技術の開発

鹿島建設株式会社
代表取締役副社長 茅野 正恭

共同提案者 鹿島建設株式会社（幹事企業）
デンカ株式会社
株式会社竹中工務店

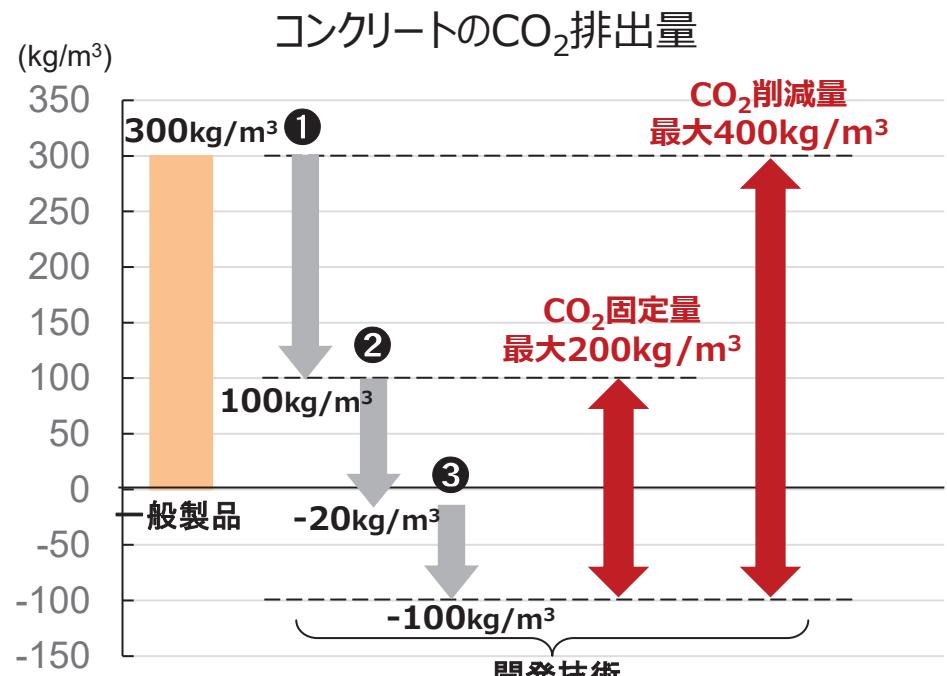
ご説明内容

- 開発技術の概要とビジネスモデル
- 標準化・社会実装に向けた取組
- 取組体制と方針

開発技術の概要（2021～2030年度）

材料開発

- ①セメント低減型コンクリート
- ②CO₂固定型コンクリート
- ③CO₂固定骨材活用型コンクリート



CO₂削減固定量最大化

施工方法開発

プレキャスト工法



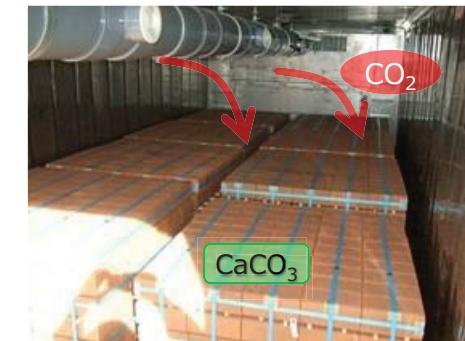
現場打設工法



様々な施工方法確立

品質管理手法開発

CO₂固定量モニタリング・評価



CO₂濃度分析



例：熱分析

品質保証

コンソーシアム参加企業

幹事会社【3社】



参加企業【44企業、11研究機関】

分野	参加企業
ゼネコン（8社）	鹿島建設、竹中工務店、鹿島道路、竹中土木、鉄建建設、東急建設、ピース三菱、不動テトラ
セメント・混和材メーカー（6社）	デンカ、太平洋セメント、トクヤマ、日鉄高炉セメント、日鉄セメント、大和紡績
混合剤メーカー（4社）	花王、竹本油脂、フローリック、ポゾリスソリューションズ
プラント関連メーカー（3社）	北川鉄工所、セイア、日工
生コンメーカー（3社）	磯上商事、三和石産、長岡生コンクリート
プレキャスト・CCU材料関連メーカー（18社）	川岸工業、コトブキ技研工業、ジオスター、住友金属鉱山シポレックス、スパンクリートコーポレーション、タイガーマシン製作所、ダイワ、高橋カーテンウォール、タカムラ建設、鶴見コンクリート、日本コンクリート、日本コンクリート工業、日本メサライト工業、ノザワ、ホクエツ、ランデス、中国高圧コンクリート工業ほか1社
商社（1社）	三菱商事
計測・システムメーカー（1社）	島津製作所
大学・研究機関等（10大学、1機関）	金沢工業大学、九州大学、芝浦工業大学、島根大学、東京大学、東北大学、東京理科大学、東洋大学、早稲田大学、東海大学、産業技術総合研究所

**インフラ・建物・街をつくりながらCO₂を削減・固定
～建設活動を通じてカーボンニュートラル社会へ貢献～**



開発成果事業展開に向けたビジネスモデル

- ① CO₂受入固定に応じた**固定料**収益
- ② **技術使用料**による収益
- ③ 排出削減に応じた**環境価値**を提供

【進捗状況】

- ① CO₂分離回収に取組む排出事業者との意見交換開始
- ② ライセンス管理方法、分配ルール協議開始
- ③ クレジット認証機関との意見交換開始

標準化・事業展開に向けた取組

【標準化】

- JIS／ISO化
- CO₂固定量・分析手法規格化対応

【民間認証（環境価値）】

- 海外ボランタリークレジットルール作り
- CCS + initiative参画

【国際連携】

- 海外有力企業連携（総合商社協働）
- セメントメジャー、コンサル

【ノウハウ・知財化】

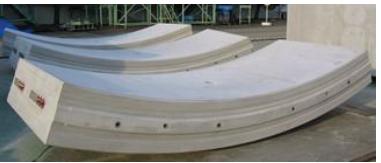
- 材料・製造設備・技術マニュアル
- CO₂固定モニタリング・認証手法

市場・競合分析

国内外市場獲得

社会実装に向けた取組

製品・用途・顧客・サプライチェーンを具体化



CO₂削減固定量200～300kg/m³程度

短期的取組

2022年～

出来上がってくる技術から

早期社会実装

2025年



万博での実証



CO₂削減固定量最大化400kg/m³程度
現場打設・汎用性大

中長期的取組

～2030年

野心的技術は

中期的視点で技術確立

標準化 JIS・ISO・環境価値・優先調達ルール

事業推進体制

代表取締役社長

天野 裕正 (事業にコミットする経営者)

代表取締役副社長

茅野 正恭 (事業統括)

専門組織

研究開発・マネジメント

執行役員 土木技術部長

坂田 昇 プロジェクトリーダ (研究開発責任者) サブリーダ 4名

標準化・戦略策定ユニット

執行役員 経営企画部長

高林 宏隆 標準化リーダ メンバ 6名

プロジェクト管理ユニット

ユニットリーダ 池松 統括管理部長
メンバ 6名

成果展開・広報・知財 ユニット

ユニットリーダ
笠倉主席
メンバ 2名

土木分野研究 ユニット

ユニットリーダ
取違上席
メンバ 9名

建築分野研究 ユニット

ユニットリーダ
笠井部長
メンバ 6名

事務経理 ユニット

ユニットリーダ
小田原所次長
メンバ 4名



共同実施

G I 基金 コンソーシアム(44企業、11大学・研究機関)

【社内体制】

- 専門組織：経営者指示を完全徹底
- 研究開発・マネジメントと6つの専門ユニット
- プロジェクトリーダ：コンクリート技術・製品開発歴37年
- 標準化リーダ：アジャイルに事業化戦略・取組促進
→全ユニットにタイムリーに展開
- 各ユニットには、長期的視点から若手配置

【コンソーシアム推進体制】

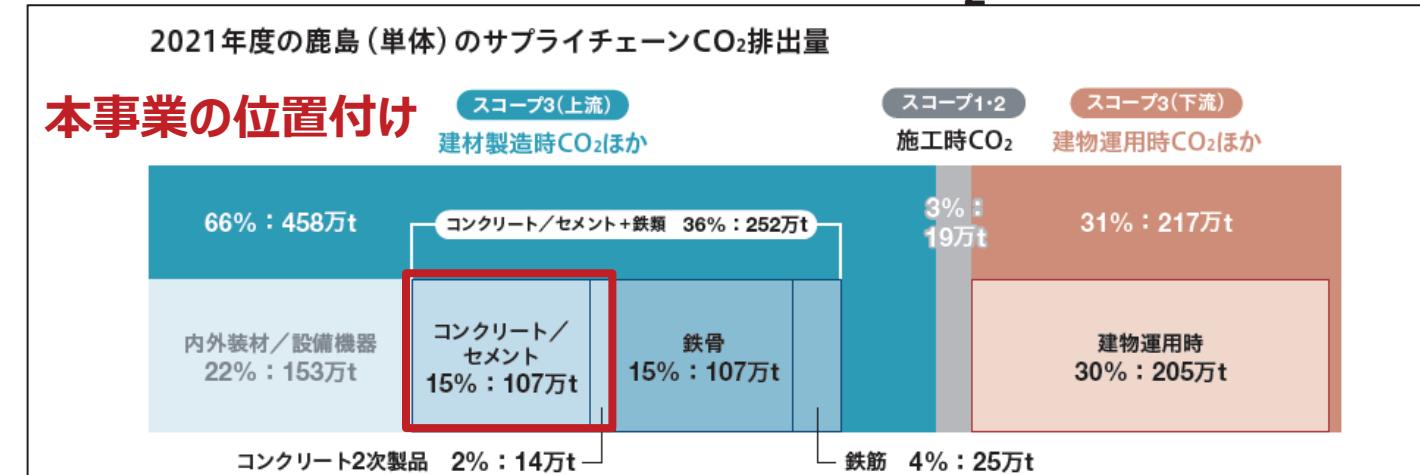
- 全体運営会議（年3回）：進捗、事業戦略確認
- 幹事会（毎月）：幹事会社情報共有
- 分野別分科会（隨時）：開発促進

全社カーボンニュートラル戦略における本事業の位置付け

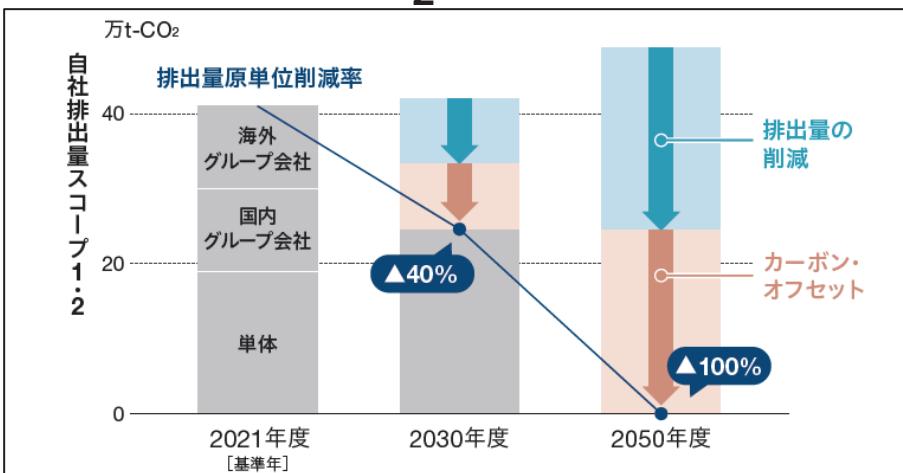
【鹿島環境ビジョン】



【自社事業範囲上下流におけるCO₂排出削減】

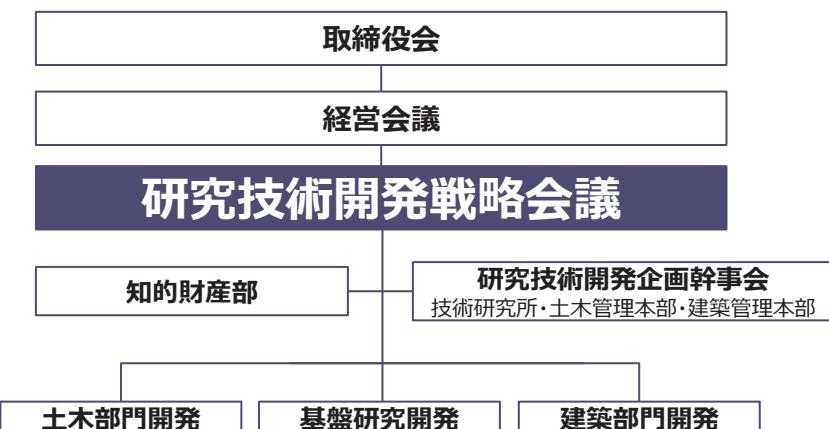


【自社排出CO₂排出削減計画】



【マネジメントチェック】

- 全社戦略重要テーマ
- 社長を含む経営層による審議
- 取締役会に報告



ステークホルダーへの情報発信

【情報発信・コミュニケーション】

- IR資料：統合報告書等
- プレスリリース
- 特許出願、学協会への論文投稿
- 顧客・サプライヤー・投資家等への説明会

【各種委員会、イベント等】

- GXリーグ
- 日建連、学会等の関連委員会参加
- COP26、マスコミ主催イベント参加

ブランドロゴ



ブランドHP開設

以 上